

一般社団法人 日本家政学会関東支部
平成24年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

一般社団法人日本家政学会関東支部 平成24年度通常総会次第

日 時： 平成24年4月28日（土）12時15分～12時45分

会 場： 実践女子大学

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

第一号議案 平成23年度事業報告の承認に関する件

第二号議案 平成23年度収支決算報告に関する件

第三号議案 平成23年度監査報告の件

第四号議案 平成24・25年度役員選出の件

第五号議案 平成24年度事業計画案の件

第六号議案 平成24年度収支予算案の件

5. 議長解任

6. 閉 会

【第一号議案】平成23年度事業報告の件

1. 総務関係

(1) 会員の状況（平成24年3月現在）

| | |
|------|--------------------|
| 正会員 | 1,076名（永年会員29名を含む） |
| 学生会員 | 93名 |

計 1,169名

名誉会員 11名（支部に属さず、参考）

(2) 総会（規約第11条（1））

2.1) 通常総会

平成23年4月16日（土） 於 共立女子大学
平成22年度事業報告及び収支決算
平成23年度事業計画及び予算案の承認など

2.2) 臨時総会

平成23年12月10日（土） 於 共立女子大学
平成24・25年度役員選出の件

(3) 役員会開催（規約第11条（3））

3.1) 第1回 平成23年4月16日（土） 於 共立女子大学

出席（17名）：支部長、副支部長1、幹事12、監事2、オブザーバー1

3.2) 第2回 平成23年4月16日（土） 於 共立女子大学

出席（19名）：支部長、副支部長2、幹事13、監事2、オブザーバー1

3.3) 第3回 平成23年6月11日（土） 於 共立女子大学

出席（19名）：支部長、副支部長2、幹事13、監事2、オブザーバー1

3.4) 第4回 平成23年9月24日（土） 於 共立女子大学

出席（17名）：支部長、副支部長2、幹事11、監事2、オブザーバー1

3.5) 第5回 平成23年12月10日（土） 於 共立女子大学

出席（17名）：支部長、副支部長2、幹事11、監事2、オブザーバー1

3.6) 第6回 平成23年12月10日（土） 於 共立女子大学

出席（20名）：支部長、副支部長2、幹事14、監事2、オブザーバー1

3.7) 第7回 平成24年2月29日（火） 於 文化学園大学

出席（18名）：支部長、副支部長2、幹事13、監事2

(4) 選挙管理委員会

4.1) 第1回 6月11日（土） 於 共立女子大学

4.2) 第2回 8月24日（水） 於 文化学園大学

（投票用紙発送：10月5日 締め切り：10月31日消印有効）

4.3) 第3回 11月19日（土） 於 共立女子大学

（開票：有効投票数 201票（19.2%））

(5) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

5.1) 学会賞・奨励賞の推薦はなし。

5.2) 功労賞候補者として、本間清一氏、沖田富美子氏の2名を推薦した。

2. 財務関係

講習会(D企画)が震災の影響により中止となり、キャンセル料のみの支払いであった。さらに、2件の見学会費用がほとんど不要であったため、大きな経費削減となった。支出の増加が予想された支部選挙費用が今年度より本部支払となり、当期分の収支はほぼ本部交付金で賄うことができた。しかし、今後は会員数の減少が予想され、学会本部の事業公募金の獲得他、支出削減の努力が必要と考えられる。

3. 企画関係

(1) 研究発表会(規約第4条(1))

1.1) 第11回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

平成24年2月29日(水) 於 文化学園大学 13:00~18:00 (研究交流会含む)

演題数 26件(卒論 16件、修論 10件)

参加者 113名 (内発表者 30名) (家政学会会員 54名、非会員 59名)

優秀な発表に対し 修論3題と卒論4題について表彰を行った。

(2) 講習会(規約第4条(2))

2.1) パソコン講習会「Adobe Acrobat 9 Pro 基本講座—基本から効果的に使いこなすためのテクニック—」

平成23年4月16日(土) 13:30~16:30

於 共立女子大学

講師: エスエイティーター (株) 遠藤明久氏 中止 (東日本大震災による影響)

(3) 見学会・講演会(規約第4条(2)(3))

3.1) 見学講演会「味の素株式会社 工場見学会および講演会」

平成23年9月15日(木) 13時00分~17時00分

於 味の素株式会社 川崎工場

見学: 旨味調味料(ほんだし)、レトルト食品(クックドゥ)工場および展示室

講演: イノベーション研究所 河合美佐子氏「うま味と健康」

食品研究所 青木利之氏「かつお節のおいしさ」

参加者: 31名 (正会員9名、学生会員2名、非会員(学生)20名)

3.2) 見学会「伊勢半本店 紅ミュージアムの見学と「紅」体験」

平成23年12月10日(土) 12時30分~15時30分 (2回開催)

於 伊勢半本店 紅ミュージアム

ミュージアム学芸員による展示物を見学しながらのレクチャーと「紅」の体験(「紅」の茶の試飲、紅つけ)

参加者: 26名 (学会員13名、非学会員13名(うち学生12名))

(4) その他(規約第4条(3))

4.1) 東日本大震災対応コラムの開設

平成23年7月21日から「省エネ生活を支える暮らしの知恵」と題して、関東支部ホームページ上に開設した。

会員、非会員を問わずコラムの趣旨に賛同された方々の、衣食住、児童、健康領域の話題を、5題掲載中である。

4. 広報関係

(1) 関東支部ホームページの管理

昨年度に引き続き、(株)シーサイドネットとの間でサーバー使用に関する契約(セキュアレンタルサーバーサービス [C'S SERVER Professional])の更新を行った。同様に、(有)クリエイティブ・プラントとの間でホームページ管理に関する契約の更新を行い、役員会抄録や各企画の案内等のホームページへの掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

(2) 関東支部メールニュースの配信

メールニュース受信用のアドレス登録を勧誘した。平成24年3月28日現在で、522名が登録している。平成23年度はメールニュースを1回(No. 26)配信した。

(3) その他の活動

関東支部ホームページに見学会、講演会、家政学関連卒論・修論発表会、パソコン講習会の案内、家政学関連のイベント案内やポスターを掲載し、広く広報活動を行った。

5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況(平成24年3月現在)

正会員 57名

学生会員 19名

計 76名

(2) 幹事会開催

2.1) 第1回 平成23年4月24日(日) 於 共立女子大学 出席:幹事11名

(3) 企画関係(規約第4条(2))

3.1) 第二回実践講座

「家政学分野をめぐろう!高齢期の住環境整備」

平成23年8月27日(土) 於 東京ガス新宿ショールーム 10:00~12:30

講演 「あたたか住宅で介護予防・事故予防」

講師 瀧口祥江氏(東京ガス株式会社リビング企画部)

体験 シニアシミュレーション

参加者21名(正会員4名、非会員17名(内学生17名))

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ホームページの管理

幹事情報の更新や企画の案内や活動報告の掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

4.2) 情報発信・共有

広報活動を積極的に行うために、家政学会関東支部若手の会の Facebook ページ及びツイッターアカウントを新規に作成。幹事の活動状況に関する情報を発信・共有できるようにした。

4.3) その他の活動

若手の会ホームページに企画の案内やポスターを掲載したほか、関東支部や全国若手の会と連携し、両団体が管理・配信するメールニュースに企画の案内を掲載した。

また、これまでの若手の会の企画に参加した方のうち、希望者には企画の案内等の活動情報を送付し、広報を行った。なお、活動情報配信希望登録数は計51名(うち、学生5名)である。

【第二号議案】平成23年度収支決算報告の件

【第二号議案】平成23年度収支決算報告の件

平成23年度 関東支部収支決算

| 収入の部 | | | | 単位:円 |
|-----------|-----------|-----------|---------|------------------------------------|
| | 予算 | 決算 | 差異 | 備考 |
| 本部交付金 | 702,500 | 881,946 | 179,446 | ※本部交付金 702500円+支部選 挙費179446円 |
| 利息 | 300 | 253 | -47 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計(a) | 702,800 | 882,199 | 179,399 | |
| 前期繰越収支差額 | 667,157 | 667,157 | 0 | |
| 収入合計(b) | 1,369,957 | 1,549,356 | 179,399 | |

| 支出の部 | | | | 単位:円 |
|---------------|-----------|---------|----------|------|
| | 予算 | 決算 | 差異 | 備考 |
| 1.管理費関係 | | | | |
| 会議費 | 80,000 | 41,419 | -38,581 | |
| 旅費交通費 | 130,000 | 76,020 | -53,980 | |
| 通信運搬費 | 10,000 | 5,400 | -4,600 | |
| 消耗品費 | 10,000 | 0 | -10,000 | |
| 人件費 | 5,000 | 0 | -5,000 | |
| 印刷費 | 10,000 | 0 | -10,000 | |
| 小計 | 245,000 | 122,839 | -122,161 | |
| 2.事業関係費 | | | | |
| 総会費 | 100,000 | 60,212 | -39,788 | |
| 見学会・講習会 | 200,000 | 40,935 | -159,065 | |
| 研究発表会 | 200,000 | 210,646 | 10,646 | |
| 研究助成(若手の会) | 30,000 | 30,420 | 420 | |
| HP維持管理費 | 250,000 | 243,525 | -6,475 | |
| 選挙費 | 200,000 | 179,446 | -20,554 | |
| 小計 | 980,000 | 765,184 | -214,816 | |
| 3.その他 | | | | |
| 予備費 | 30,000 | 0 | -30,000 | |
| 小計 | 30,000 | 0 | -30,000 | |
| 当期支出合計(c) | 1,255,000 | 888,023 | -366,977 | |
| 当期収支差額(a-c) | -552,200 | -5,824 | 546,376 | |
| 次期繰越収支差額(b-c) | 114,957 | 661,333 | 546,376 | |

現金預金の期末残高内訳

| | 23年度 |
|------------|---------|
| 手許現金 | 51,609 |
| 銀行預金(普通預金) | 609,724 |
| 銀行預金(定期預金) | 0 |
| 合計 | 661,333 |

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、支部規約に則った適正な事業、適正な収支決算がなされていることを認めます。

平成24年4月 / 日
 監事 全野晴美
 監事 川嶋かほり



支部名: 関東支部

平成23年度 関東支部預金収支決算

一般

単位: 円

| | 費目名 | 収入金額 | 支払金額 | |
|-------------|------------|-----------|---------|------------------------------------|
| 収入 | 繰入金 | 667,157 | | |
| | 学会本部より | 881,946 | | ※本部交付金 702500円+支部 選挙費179446円 |
| | 利息 | 253 | | |
| | 収入合計 | 1,549,356 | | |
| 支出 | 引出 | | 433,807 | |
| | 事業④若手の会 | | 30,000 | |
| | 事業⑤HP維持管理費 | | 242,790 | |
| | 事業⑥選挙費用 | | 179,446 | |
| | 手数料 | | 1,980 | |
| | 支出合計 | | 888,023 | |
| 収支差額(次期繰越額) | | | | 661,333 |

定期預金

※平成23年10月18日解約し普通預金に振

| | 費目名 | 収入金額 | 支払金額 | |
|-------------|--------|------|------|---|
| 収入 | 新規預け入れ | 0 | | |
| | 利息 | 0 | | |
| | 収入合計 | 0 | | |
| 支出 | 支出合計 | | 0 | |
| 収支差額(次期繰越額) | | | | 0 |

貸借対照表（関東支部）
（平成24年3月31日現在）

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------|---------|---------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 手許現金 | 51,609 | 62,582 | ▲ 10,973 |
| 普通預金(みずほ銀行) | 609,724 | | |
| 通常貯金(ゆうちょ銀行) | 0 | 604,575 | ▲ 604,575 |
| 振替口座(ゆうちょ銀行) | | | |
| 流動資産合計 | 661,333 | 667,157 | ▲ 5,824 |
| 2. 固定資産 | | | |
| 支部大会基金引当預金 | | | |
| 定期預金() | | | |
| 通常貯金(ゆうちょ銀行) | 0 | 0 | 0 |
| 固定資産合計 | 0 | 0 | 0 |
| 資産合計 | 661,333 | 667,157 | ▲ 5,824 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払い金 | 0 | 0 | 0 |
| 負債合計 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 2. 一般正味財産 | 661,333 | 667,157 | ▲ 5,824 |
| 負債及び正味財産合計 | 661,333 | 667,157 | ▲ 5,824 |

監査報告書

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、
平成23年度の計算書類が正しく示されているものと認めます。

平成 24 年 4 月 / 日

監事 氏名

全野 晴美 (印)

監事 氏名

川 嶋 ひと子 (印)

【第三号議案】平成 23 年度監査報告の件

日本家政学会関東支部規程に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は全ての役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、全ての支部事業に参加し、その実行状況を観察し、支部長と会計幹事から事業・決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

① 総務関係

支部に所属する正会員数は、およそ 1,200 名であり、減少傾向にある。新たな会員の獲得が今後の課題となるだろう。

役員会の出席状況は良好で、適正かつ効率的な運営に努めている。

② 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく表示している。

平成 23 年度は本部交付金が減額されているが、今年度より選挙にかかわる費用を本部が負担することとなり、これは支部財務の健全化に大きく寄与することとなった。また財務状況から事業に対する本部からの公募分事業費の獲得が重要となるが、この申請のためにも事業計画の早期の立案等が必要となろう。

③ 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく表示している。

平成 23 年度は、講演会併催の見学会および見学会を行ったが、盛会であった。学生の教育機会となっている面もあり、好ましいことと考えられる。修士論文・卒業論文発表会も演題数、参加者数ともに多く、研究交流会も盛会であったが、発表演題の分野が偏っている感があり、広い分野の参加を促す方策が望まれる。

④ 広報関係

支部ホームページは、アップロードも頻繁であり広報に役立っている。役員間の連絡に用いるメールリングリストは、十分に機能しており、役員間の情報共有に資するところ大である。一方、支部会員へのメールニュース配信は多いとは言えず、メールニュースは速報性に優れるだけに、今後の活用を期待したい。

⑤ 若手の会

23年度は、住居分野に関する見学会兼講演会が行われ、多数の学生の参加があった。次世代の育成の良い機会となったと考えられる。

以上、概ね当支部の事業及び運営は、順調に推移していることを報告する。よって家政学会規程もしくは家政学会関東支部規程に反する重大な事項はないと認められると判断した。

【第四号議案】 平成24・25年度役員選出の件

1) 支部役員

関東支部長

| | |
|-------|-------------|
| 戸田 泰男 | 共立女子大学 家政学部 |
|-------|-------------|

支部監事

| | |
|-------|-------------|
| 生野 晴美 | 東京学芸大学 教育学部 |
| 今井 悦子 | 聖徳大学 |

支部幹事

| | | |
|----|--------|-------------------------|
| 1 | 綾部 園子 | 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 |
| 2 | 今井 美樹 | 昭和女子大学 短期大学部 |
| 3 | 色川 卓男 | 静岡大学 教育学部 |
| 4 | 植竹 桃子 | 東京家政学院大学 現代生活学科 |
| 5 | 香西 みどり | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 |
| 6 | 数野 千恵子 | 実践女子大学 生活科学部 |
| 7 | 川上 梅 | 実践女子大学 生活科学部 |
| 8 | 川上 雅子 | 共立女子大学 家政学部 |
| 9 | 川端 博子 | 埼玉大学 教育学部 |
| 10 | 小柴 朋子 | 文化学園大学 服装学部 |
| 11 | 斎藤 悦子 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 |
| 12 | 佐藤 悦子 | 上越教育大学 学校教育学部 |
| 13 | 薩本 弥生 | 横浜国立大学 教育人間科学部 |
| 14 | 塩原 みゆき | 株式会社エフシージー総合研究所 |
| 15 | 嶋根 歌子 | 和洋女子大学 家政学群 |
| 16 | 下村 久美子 | 昭和女子大学 生活科学部 |
| 17 | 仲西 正 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 |
| 18 | 藤井 恵子 | 日本女子大学 家政学部 |
| 19 | 峯木 眞知子 | 東京家政大学 家政学部 |
| 20 | 宮坂 広夫 | ライオン(株)ヘルス&ホームケア事業本部 |
| 21 | 柳沢 幸江 | 和洋女子大学 家政学群 |
| 22 | 吉川 はる奈 | 埼玉大学 教育学部 |
| 23 | 米山 雄二 | 文化学園大学 服装学部 |

2) 関東支部選出本部代議員

| | | |
|----|--------|-------------------------|
| 1 | 赤塚 朋子 | 宇都宮大学 教育学部 |
| 2 | 阿部 栄子 | 大妻女子大学 家政学部 |
| 3 | 綾部 園子 | 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 |
| 4 | 新井 映子 | 静岡県立大学 食品栄養科学部 |
| 5 | 内野 紀子 | 日本女子大学 家政学部 |
| 6 | 川端 博子 | 埼玉大学 教育学部 |
| 7 | 小西 雅子 | 東京ガス(株) 「食」情報センター |
| 8 | 定行 まり子 | 日本女子大学 家政学部 |
| 9 | 薩本 弥生 | 横浜国立大学 教育人間科学部 |
| 10 | 四宮 陽子 | 実践女子大学 生活科学部 |
| 11 | 杉山 久仁子 | 横浜国立大学 教育人間科学部 |
| 12 | 鈴木 恵美子 | お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 |
| 13 | 多屋 淑子 | 日本女子大学 家政学部 |
| 14 | 津田 淑江 | 共立女子短期大学 生活科学科 |
| 15 | 長津 美代子 | 群馬大学 教育学部 |
| 16 | 能澤 慧子 | 東京家政大学 家政学部 |
| 17 | 堀内 かおる | 横浜国立大学 教育人間科学部 |
| 18 | 増子 富美 | 日本女子大学 家政学部 |
| 19 | 峯木 眞知子 | 東京家政大学 家政学部 |
| 20 | 宮本 みち子 | 放送大学 教養学部 |
| 21 | 森高 初恵 | 昭和女子大学 生活科学部 |
| 22 | 柳沢 幸江 | 和洋女子大学 家政学部 |
| 23 | 山口 庸子 | 共立女子短期大学 生活科学科 |

【第五号議案】平成24年度事業計画案

1. 総務関係

(1) 総会（規約第11条（1））

1.1) 通常総会

平成24年4月28日（土）に実践女子大学において開催する。

(2) 役員会開催（規約第11条（3））

年6回の開催を予定している。

(3) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

関東支部推薦の学会賞・奨励賞・功労賞の候補者の選考を行う。また、公益信託家政学研究助成基金の助成などについても申請することを推奨する。

2. 財務関係

交付金の減少により、大幅に預貯金を取り崩さなければならない状況である。しかし、昨年度、大幅な経費削減を実行できたことを考慮し、見学会・講習会費、広報費は昨年の予算とほぼ同額とした。会議費、旅費交通費、総会費および研究発表会費は実情に近づけた予算案を策定した。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第15回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

平成25年2月下旬～3月上旬に開催を予定している。

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) パソコン講習会 「Excel 応用編 ーより効率的な使い方を知るー」

平成24年4月28日（土）13:30～16:30 於 実践女子大学

講師：株式会社 英揮情報システム教育事業部課長 五十嵐 一成 氏

(3) 見学会・講演会（規約第4条（2）（3））

年2回の見学会・講演会を予定している。

4. 広報関係

関東支部ホームページの内容整備や積極的な記事の掲載、更新、メールニュースの配信やアドレス登録呼びかけなどの広報活動を行う。具体的には、アドレス登録の簡素化による登録数の増加に努める。関東支部ホームページにアップロードした記事は必ず、家政学会のホームページなどにリンクを張る。

5. 若手の会の活動

昨年度より実施している、家政学各分野の実践講座シリーズを第3回という位置づけで被服分野をテーマに、見学会及び講演会の実施を予定している。さらに企画への学生参加をさらに促すため、就職活動時や社会人になった時に役に立つマナー講座（ドレスコードやテーブルマナーなど）の実施も検討している。

その他、若手の会幹事会や勉強会等も企画していく予定である。また、今年度新規に立ち上げたFacebook ページやツイッターアカウントを、有効性を検討しながら運営していき、いずれは幹事の勉強会等にも利用できるように整備していく。

さらに、関連する他組織の若手の会等との連携を深めていく。これらの活動を通して若手の研究者同士の交流を図り、企画・実行の実績を重ねたうえで活動範囲を広め、中長期的には公開講座実施を目標としていく。

【第六号議案】平成24年度収支予算案

平成24年度 関東支部収支予算(案)

収入の部

単位:円

| | 予算 | 前年度予算 | 差異 | 備考 |
|-----------|-----------|-----------|--------|----|
| 本部交付金 | 693,000 | 702,500 | 9,500 | |
| 公募分事業費 | 0 | 0 | 0 | |
| 利息 | 300 | 300 | 0 | |
| 寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収入合計(a) | 693,300 | 702,800 | 9,500 | |
| 前期繰越収支差額 | 661,333 | 667,157 | 5,824 | |
| 収入合計(b) | 1,354,633 | 1,369,957 | 15,324 | |

支出の部

単位:円

| | 予算 | 前年度予算 | 差異 | 備考 |
|------------|---------|---------|---------|----|
| 1.管理費関係 | | | | |
| 会議費 | 70,000 | 80,000 | 10,000 | |
| 旅費交通費 | 120,000 | 130,000 | 10,000 | |
| 通信運搬費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 消耗品費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 人件費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 印刷費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 小計 | 225,000 | 245,000 | 20,000 | |
| 2.事業関係費 | | | | |
| 総会費 | 130,000 | 100,000 | -30,000 | |
| 見学会・講習会 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 研究発表会 | 230,000 | 200,000 | -30,000 | |
| 研究助成(若手の会) | 30,420 | 30,000 | -420 | |
| HP維持管理費 | 250,000 | 250,000 | 0 | |
| 選挙費 | 0 | 200,000 | 200,000 | |
| 小計 | 840,420 | 980,000 | 139,580 | |
| 3.その他 | | | | |
| 予備費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 小計 | 30,000 | 30,000 | 0 | |

| | | | | |
|---------------|-----------|-----------|----------|--|
| 当期支出合計(c) | 1,095,420 | 1,255,000 | 159,580 | |
| 当期収支差額(a-c) | -402,120 | -552,200 | -150,080 | |
| 次期繰越収支差額(b-c) | 259,213 | 114,957 | -144,256 | |

(関東支部)収支予算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

| 科 目 | 注意点、変更点 | 当年度予算 | 前年度予算 | 備考 |
|--------------|---|-----------|-----------|----------|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 基本財産運用益 | 本部のみ記入 | | | |
| 受取入金 | | | | |
| 受取会費 | | | | |
| 事業収入 | | 0 | 0 | |
| 会誌購読料 | | | | |
| 大会等参加費 | | | 0 | |
| 広告料 | | | | |
| 学会刊行物売上 | | | | |
| 著者負担金 | | | | |
| 受取補助金 | 国、市区町村、民間団体からの補助金、助成金 | | | |
| 一般寄付金 | | | | |
| 特別寄付金 | | | | |
| 雑収入 | 預金利息は全てこちらに計上して下さい。 | 300 | 300 | |
| 本部からの繰入金収入 | 本部からの活動助成金はこちら | 693,000 | 702,500 | |
| 事業活動収入計 | | 693,300 | 702,800 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| ① 事業費支出 | | | | |
| 東日本大震災関連費用 | 本部のみ記入 | | | |
| 大会等関連費用 | | 220,000 | 190,000 | 研究発表会 |
| 講演会等関連費用 | | 200,000 | 200,000 | 見学会・講演会 |
| 学会誌等関連費用 | | 0 | 0 | |
| 研究発表要旨集関連費用 | | 10,000 | 10,000 | 研究発表会要旨集 |
| 研究補助費 | | 30,420 | 30,000 | 若手の会 |
| 表彰費 | | 0 | 0 | |
| 関連学会費 | | | | |
| 給料手当 | 臨時雇賃金もこちら | 5,000 | 5,000 | 人件費 |
| 広報費 | | 250,000 | 250,000 | HP維持管理費 |
| 福利厚生費 | 本部のみ記入 | | | |
| 旅費交通費 | | 120,000 | 130,000 | 旅費交通費 |
| 通信運搬費 | | 10,000 | 210,000 | 通信運搬費 |
| 備品費 | | | | |
| 消耗品費 | | 10,000 | 10,000 | 消耗品費 |
| 光熱水料費 | | | | |
| 雑費 | | 30,000 | 30,000 | 予備費 |
| 総会費 | | 130,000 | 100,000 | 総会費 |
| 事務委託費 | | | | |
| 租税公課 | 本部のみ記入 | | | |
| 地代 | 本部のみ記入 | | | |
| 会議費 | | 70,000 | 80,000 | 会議費 |
| 支払負担金 | | | | |
| 印刷費 | | 10,000 | 10,000 | 印刷費 |
| 諸謝金 | | | | |
| 修繕費 | | | | |
| 減価償却費 | 本部のみ記入 | | | |
| リース料 | | | | |
| 事務所管理費 | | | | |
| ② 管理費支出 | | | | |
| 給料手当 | | | | |
| 広報費 | | | | |
| 福利厚生費 | | | | |
| 旅費交通費 | | | | |
| 通信運搬費 | | | | |
| 備品費 | | | | |
| 消耗品費 | | | | |
| 光熱水料費 | | | | |
| 雑費 | | | | |
| 総会費 | | | | |
| 事務委託費 | | | | |
| 租税公課 | | | | |
| 地代 | | | | |
| 会議費 | | | | |
| 支払負担金 | | | | |
| 印刷費 | | | | |
| 諸謝金 | | | | |
| 修繕費 | | | | |
| 減価償却費 | | | | |
| リース料 | | | | |
| 事務所管理費 | | | | |
| 事業活動支出計 | | 1,095,420 | 1,255,000 | |
| 事業活動収支差額 | | ▲ 402,120 | ▲ 552,200 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 2. 投資活動支出 | 基金(定期預金)を取り崩した際に計上 ※基金(定期預金)を積み立てた際に計上 | | | |
| 投資活動収支差額 | | 0 | 0 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | 借金等なので無し | | | |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動収支差額 | | 0 | 0 | |
| IV 予備費支出 | | | | |
| 当期収支差額 | | ▲ 402,120 | ▲ 552,200 | |
| 前期繰越収支差額 | | 661,333 | 667,157 | |
| 次期繰越収支差額 | | 259,213 | 114,957 | |